



# JR 連合 NEWS

JRに集う  
すべての仲間の  
JR連合への  
総結集を！！

2021 年度

No. 82

2022年2月15日

日本鉄道労働組合連合会

## JR西日本連合「第29回委員会」

### JR産業を守るためにも JR西日本連合の総団結で賃金の底上げを！

JR西日本グループ労働組合連合会（JR西日本連合）は2月10日、大阪市内で第29回委員会を開催し、安全確立、新型コロナウイルス感染症への対応、2022春季生活闘争、組織強化・拡大などの当面する活動方針を決定した。



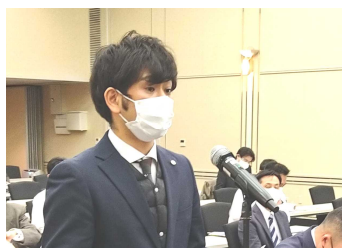
上村良成議長（JR連合副会長・JR西労組中央執行委員長）は冒頭の挨拶で、「安全確立」「2022春季生活闘争」「変化・変容への対応」の3点について見解を述べ、現下の危機をJR西日本連合の総団結で乗り越える決意を表明した。



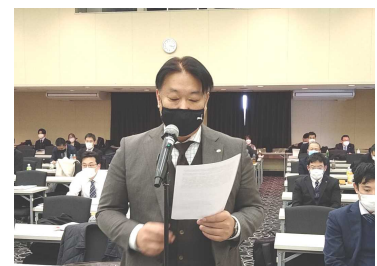
2022春闘方針について、JR西労組は昨年見送ったベア要求を行うことを決定し、具体的には「基準昇給の完全実施」「ベースアップ1,000円」「年間臨給4.0ヵ月」を柱とする要求を行ったことを報告のうえ、「離職が進む現状を踏まえ、JR西日本グループ全体で賃金の底上げを行う必要がある」として、出席者に

理解を求めた。そして、「必達目標賃金」に未達の単組に対しては、JR西日本グループに相応しい賃金水準に引き上げるため、堂々とベア要求を掲げることを要請した。

JR連合からは宮野勇馬企画部長と鎗光俊勝労働政策部長が出席し、代表して宮野部長が、「本委員会で決定される統一ベア要求の方針を全力で支援する」と挨拶した。



質疑・討論では、委員から「安全については、一部浸透した取り組みもあるが、危険な事象が発生しており、安全意見交換会などの取り組みを今後も進めてほしい」「春闘については、月例賃金を最優先に闘いを進める」などの意見があり、白壁靖子事務局長（JR連合特別執行委員・JR西労組中央副執行委員長）が一括して答弁を行った後、すべての議案が満場一致で採択された。



その後、委員会宣言を採択し、最後に上村議長の団結がんばろうで閉会した。